

博士論文要旨

コーポレート・ベンチャリングの推進組織と推進者 —創発性および戦略主導重視の視点からの考察—

立命館大学大学院経営学研究科
企業経営専攻
博士課程後期課程
はしもと よしこ
橋本 良子

本研究が対象としているコーポレート・ベンチャリング(以下 CV と称する)は、企業にとって自らの成長と存続のために有用だと考えられる。

CV を成功に導く要素として、先行研究では、CV を推進する推進者の重要性が指摘されているものの、推進者の役割や資質について精緻化しているものは見当たらない。

本論文では、CV の推進組織と推進者について、CV の推進方法の違いに着目し、類型化することにより、CV 研究のフレームワークを提示することが第 1 の目的である。さらに、そのフレームワークの有用性を確認するために、具体的な企業事例において検討することが第 2 の目的である。

序章では、企業成長論と多角化理論を検討することにより、CV は企業成長のため多角化を推進する手法であり、CV 研究は企業成長論と多角化理論をより充実させることを明確にした。

第 1 章では、CV 研究が盛んな米国および我が国における先行研究を年代別に検討することを通じて、今後 CV を推進する上での課題を明らかにしている。

第 2 章では、CV 推進組織を創発性重視型と戦略主導重視型の 2 類型に分類し、それぞれの推進者タイプとして、創発企業家と戦略遂行企業家を提示し、先行事例研究において CV の発展プロセスごとにその役割を明らかにする。さらに、CV 推進組織の推進者像を従来型組織のライン職能のマネジャー像と比較することで、CV 推進組織の推進者の育成・選抜・任用に必要な要件を論じる。

第 3 章では、CV 推進支援組織について、投資先別(社内・社外)に分類し、前者の支援組織の推進マネジャーをアドバイザー型、後者をプロデューサー型に類型化した。この類型に基づき、支援組織機能や推進マネジャー像を先行研究から明確にし、先行事例研究による検討を行った。

第 4 章では、第 2 章にて類型化した CV 推進組織の推進者について、また、第 3 章にて類型化した CV 推進支援組織の推進マネジャーについて、具体的な企業事例におけるインタビュー調査を中心に検討を行った。

以上の検討を経て、CV の目的、組織的対応は変化し、類型は移行することがあるということを示し、このフレームワークについては、CV のありようを単に類型化して明らかにして見せるだけではなく、CV の目的や組織的対応が変化したり、類型が移行することがあるという柔軟性を持った見方をする必要があることを示している。